

代表質問

この定例会では、議案や市政全般について、各会派を代表して5人の議員が質問し、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。

なお、各会派の紙面の割合は、会派所属議員数に応じて案分しています。

会派	議員数	質問時間
水曜会	13人	120分
公明党	7人	120分
誠友会	7人	120分
市民連合	5人	120分
新政クラブ	3人	120分

代表質問や一般質問の録画放送は、インターネットで見ることができます。(詳細は8ページ上段をご覧ください)

水曜会



連石 武則

福山駅周辺の再整備は

問 公共交通機関を安心して利用でき、スムーズな利用者の流れを形成するための再整備は。

答 路線バスの乗降場を旧三菱UFJ銀行と天満屋との間に新たに設置することとしている。またタクシーの乗降場を駅前の伏見町

寄りに新たに確保し、さらにNEWCASTLE北側には降車場も設ける計画としている。

駅北側については、多くの台数が収容できる立体駐車場を整備しゲートのない入場システムの導入などを検討する。

また、駅南側の地下送迎場について、現在示している案では、地下駐車場と接続することで地下からの出口を天満屋西側あたりに移設することとしており、今よりスムーズに退出できるようになる。



駅前広場

児童生徒の学力課題は

問

①全国学力・学習状況調査の結果では、本市の子どもたちの学力状況は小中学校共に芳しくない状況が続いていると見受けられるが、受け止めは。
②今年度の重点政策を通して学力向上にどう取り組むか。

答 ①国語や算数、数学などの教科学力が国、県の平均と比較して下回る状況が続いている。とりわけ近年、正答率40%未満の児童生徒の割合が増加していることに

有機フッ素化合物の検出は

問

国が行った水質調査により、加茂町の深山川の4地点においてPFOS・PFOAの合算値が最大で暫定指針値の11倍を超える、1リットル当たり580ナノグラムが検出されたとの報告があった。今後の対策は。

答 調査結果を受け、本市からの公表に当たっては、現状の報告とともに井戸水等の飲用を控えるよう注意喚起を行った。また関係住民を対象に説明会を開催し、こ

強い危機感を持っている。

②今年度、学びづくり課内にプロジェクトチームを設けるとともに学力向上支援事業として、小学4・5年生と中学1・2年生を対象に、国語および算数、数学に関する学力定着状況調査を実施し子どもたちの学力状況を客観的かつ詳細に把握することとしている。

調査によって明らかになった一人一人の課題を早期に改善できるよう、分析結果や算数、数学に関する多数の問題が搭載されたデータベースなども活用しながら、指導や支援の充実を図っていく。

これまでの経緯や調査内容、健康相談や健康調査の実施、今後の市の取り組み等について説明した。環境省に対しては技術的・財政的支援、情報提供等を要望した。今後は、河川や飲用井戸等の追加調査を行い、国とも協力して影響範囲を特定するとともに排出源の特定調査を行うことにしている。また農林水産省、厚生労働省にも取り急ぎ必要な対応を要望し、必要に応じて国や県、学識経験者などで構成する専門委員会の立ち上げも検討する。一日も早く住民の不安が解消されるよう全力で取り組む。

※PFAS(5ページ)：人工的に作られた有機フッ素化合物の総称

※PFOS・PFOA：有機フッ素化合物(PFAS)の一種